

# 令和3年度 教員免許状更新講習 シラバス

講習 番号	2	講習名	【選択②】英語教育と異文化コミュニケーションの理論と実践				
担当講師	開催地	時間数	主な受講対象者	受講人数	講習形式	試験方法	
S. L. Rosen 吉本 和弘 本岡 直子	広島キャンパス	6時間	小学校教諭、及び中学校・ 高等学校英語科教諭	30人	【対面】 講義・ワー クショップ	筆記	
開催日	8月10日(火)		予備日	8月17日(火)			
【到達目標】 Improvement in teaching for English language education							
【講習の概要】 1) Lecture in two parts. Part I: language theory Part II: methodology for language education 2) 授業に演劇的手法を取り入れる方法について紹介し、授業実戦へのアイデアを提供する。3) 大学入試の改革に備えて、英文読解指導に関する今後の展望を考察する。							
【講習の内容】							
<p><b>第1部 言語と思考と文化の関係を論じる言語理論 (担当: S. L. ローゼン)</b></p> <p>This will be a two-part lecture.</p> <p>The first part will be on language theory in general with reflection on the nature of language and linguistic communication. This will also include an overview of recent trends in second language acquisition theory.</p> <p>The second half of the lecture will be focused on specific methodologies for teaching English in Japanese schools. The perspective will be strongly influenced by the Natural Approach (Stephen Krashen), but other practical learning technologies including the use of new digital technology will be introduced.</p>							
<p><b>第2部 英語教育に演劇を取り入れるためのワークショップ (担当: 吉本和弘)</b></p> <p>講師が実践している英語劇の上演の状況や、パフォーマンスを行うイベントの教育効果についての研究報告などを紹介し、演劇が語学学習者に与える有用性、演劇を授業に取り入れる際の様々な問題点とその解決方法を考察する。ワークショップ形式で、演劇を用いた各種のアクティビティを体験してもらう。さらに演劇を英語授業に導入するためにはどうすれば良いか、オンラインの場合はどうすれば良いか、参加者の教育現場での問題点について意見を出し合い、授業での実践可能性を探る。</p>							
<p><b>第3部 これからの評価および入試を考えたリーディング指導 (担当: 本岡 直子)</b></p> <p>昨年度から始まった大学入学共通テストをはじめ、入試が大きく変わり、また、評価の在り方についても新しい観点が導入されている。本講座では、これからの評価の在り方および入試への対応を考えた場合、どのような指導や学習活動が必要か、リーディング活動に焦点をあてて考察する。</p>							
【備考】							
<p>試験の際、講義テキストとノートの持ち込みを認めます。(ローゼン)</p> <p>動きやすい服装(スーツ、スカートではない)で受講してください。(吉本)</p>							